

1993(平成5年)

# 第8号

11月1日発行

川崎市青少年育成連盟  
〒211 川崎市中原区上小田中1313-1  
エポックなかはら5階  
電話 044-733-3951

# 育連だより

編集・発行/川崎市青少年育成連盟(理事長 佐藤博彦)

川崎市青少年育成連盟  
川崎市子ども会連盟  
ボーイスカウト川崎地区協議会  
ガールスカウト川崎市連絡会  
川崎海洋少年団

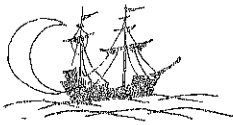
## 川崎市青少年育成連盟

# 交流 ふれあい、そして発見

## 姉妹都市—ボルチモア市訪問

育成連盟加盟の各団体と川崎市の姉妹都市との交流相互訪問。

本年度はボーイスカウトと海洋少年団がアメリカ・ボルチモア市を訪問。ホームステイを重ねながら国際交流の成果をあげ、無事帰国。



## シースカウトとクルーザーヨットで

海洋少年団

## 川崎市長メッセージをたずさえて

ボーイスカウト



県外交流レク研修

育連加盟四団体から選ばれた中・高校生七名と佐野市ジュニアリーダー十名が参加し、二泊三日のうちの二泊二日を共にする研修

### 栃木県佐野市少年団体と交流

### 中・高校生交流研修

だが、お互いの市の紹介や各団体の活動紹介、レクリエーションをまじえながら交流を深めていくという独特な研修会だ。

お互いを知る、活動を知る、学びあうという目的の交流研修は年々充実していく。佐野市の皆さんの心温まる対応に感謝したい。

日本の海洋少年団はアメリカではシースカウトと呼ばれ、ボーイスカウトに含まれている団体である。ボルチモア・シースカウトとの交流活動は、七月二十四日から八月八日までの約二週間、派遣メンバー六名は、あわただしい中にも楽しく充実した貴重な体験に、深い感動をおぼえた。

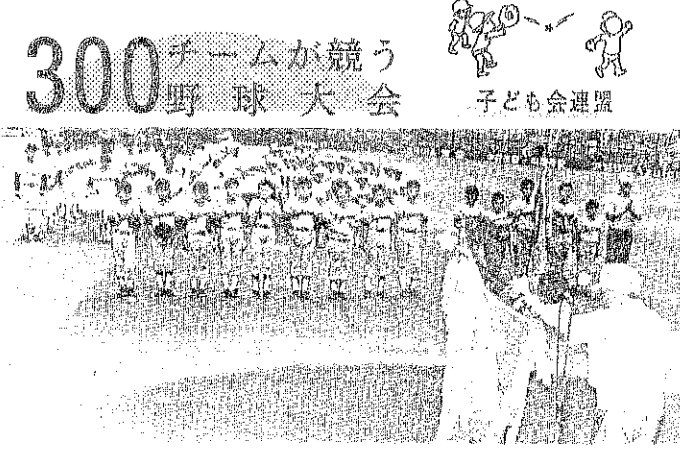
来年はボルチモアスカウトを迎えて十周年記念事業を計画している。

来年はボルチモアスカウトを迎えて十周年記念事業を計画している。

七月二十一日から八月八日までの十九日間、姉妹都市ボルチモア市を訪問した。

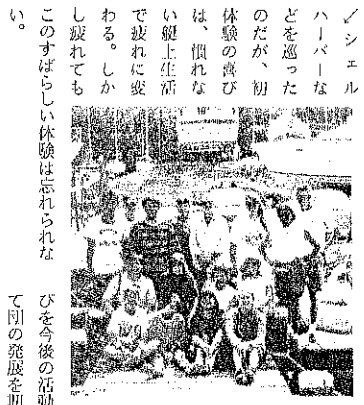
団員二十名はまず、高橋清・川崎市長のメッセージをたずさえてボルチモア市長への表敬訪問、緊張感あふれる中を無事に目的の一つを果たしてホッとする。

ボルチモアBSとの交流行事や見学などで忙しい日々が続いたが、アメリカの青少年や父母、そしてその文化に接して、あらためて国際交流の意義について考えた。



## 300チームが競う野球大会

子ども会連盟



ヨットハーバーでの交流

ホストファミリーの心温まるもてなしや見学先で得た知識など、国際交流ならではの二週間であった。この喜びを今後の活動のエネルギーとして団の発展を期したい。

予選を展開、予選を勝ち抜いた小学生八チーム、中学生七チームが参加するといふ大規模な野球大会。五月末から各区ごとに開会、「川崎一」を目指して予選を展開、予選を勝ち抜いた小学生八チーム、中学生七チームが参加するといふ大規模な野球大会。五月末から各区ごとに開会、「川崎一」を目指して予選を展開、予選を勝ち抜いた小学生八チーム、中学生七チームが参加するといふ大規模な野球大会。

試合の結果は次のとおり。

川崎球場、富士見球場に勢ぞろい。ユニホームを泥だらけにしながら随所に好プレーを見せ、スタンドの応援席から盛んな拍手が湧いた。

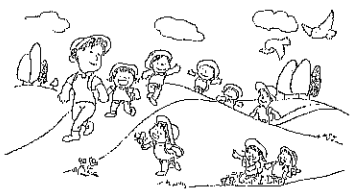


## 32周年記念レク

32周年記念レクは、いつもお世話になっております。神奈川県32団の20周年記念キャンプの写真をお送りします。戸隠キャンプ場へ行ききました。雨の中の設置、ハイキング、ブラウニーを交えての中でワイドゲームなど、大自然の中で心に残る素敵なキャンプでした。

記念式典は十一月二十八日、新百合丘の21ビルで行ないます。(32団 農宗記)

### 青少年キャンプ研修 川崎団「身近な水を知ろう」



海や河川の汚染、森林破壊と砂漠化など環境問題は、世界の課題となっている。そこで今年のプログラム研修では「身近な水」をテーマに、十月から二月まで、宿泊研修を含めた全2回にわたる研修が進められている。約四十名の参加者が水道事情、生活排水、多摩川の現状など現地調査や見学を取りいれてのユニークな研修活動で成果が期待される。

